令和5年度 出雲市認知症ケア推進実施計画

～認知症になっても笑顔で暮らせるまちづくり～

令和5年3月

出雲市医療介護連携課

実施計画について

　認知症ケア推進に向けた取組は、国の新オレンジプランに基づき、第８期出雲市高齢者福祉計画・介護保険事業計画に掲げた４本の柱を中心に進めていきます。

　この実施計画は、認知症ケア推進の取組を進めるにあたり、具体的な取組内容とその実施主体及び関係者との連携・協調関係を明確にし、より実効性を高めるために策定するものです。

　また、この実施計画は必要に応じて見直しを行いながら進めていきます。

出雲市の認知症ケアに向けた未来図

認知症サポーター養成講座の推進
オレンジサポーターやボランティア
の発掘の場

認知症の人やその家族を支援する
オレンジサポーターやボランティアの養成

認知症になっても笑顔で
暮らせるまちづくり

各地域で認知症カフェの運営
認知症の人や家族の集いの場

認知症予防の推進

早期発見・早期診断に向けた取組
初期集中支援チーム

基本方針

認知症高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるまちづくりを進めるため、市の基本方針を定めます。

認知症地域支援推進員と連携し、より積極的に地域に出向き、地域での認知症 ケアを推進します。

関係機関との連携を強化し、共通の課題認識のもと、協働した取組の実施を目指します。

認知症ケア推進に向けての取組

（1）認知症に対する正しい理解の普及と認知症の人等を支援する取組

- **①認知症サポーターの養成(継続)**
- ②認知症ケア・フォーラムの開催(継続)
- ③認知症キャラバン・メイトへの支援(継続)

（2）認知症予防に対する取組

- ①認知症予防教室の実施(継続)
- **②「通いの場」における認知症予防の取組(継続)**

（3）早期発見・早期診断等の取組

- ①認知症初期集中支援チームの活動(継続)
- **②認知症ハンドブックの活用(継続)**
- ③認知症地域支援推進員（認知症コーディネーター）の配置(継続)
- ④若年性認知症の人に対する支援(継続)
- ⑤認知症サポート医会との連携（継続）

（4）認知症支援ネットワークの拡充

- **①オレンジサポーター等の養成（拡充）**
- **②認知症カフェの開設（拡充）**
- ③小地域単位のネットワークづくり（拡充）
- ④行方不明時の対応(継続)

※（継続）・（拡充）は第8期計画における第7期との関係　　※太枠は「重点項目」

重点項目	現状・課題	効果	2025年に向けて 将来像・展望
(1)認知症サポーター養成講座	より多くの方が認知症サポーター養成講座を受講できるよう、周知や実施勧奨を強化する必要がある。	認知症に対する正しい理解が広く普及され、認知症の人や家族の理解者が増える。	認知症を受け入れる文化が醸成され、認知症の人や家族が住みやすいまちづくりに繋がる。
(2)「通いの場」における認知症予防の取組	週1回以上、認知症予防に取り組む「通いの場」が少ない。	認知症予防に繋がり、認知症の発症を遅らせたり、進行を緩やかにすることができる。	週1回以上、開催する「通いの場」を推進する。
(3)認知症ハンドブック	更新したハンドブックの普及を広く地域住民に周知していく必要がある。	認知症について、相談先やどのようなサービスが利用できるのか等、広く情報を発信することができる。	認知症の当事者やその家族に認知症に対する適切な対応・家族支援ができる体制を構築する。
(4)認知症オレンジサポーター養成講座	修了者が当事者への具体的なサポートを行うことができるよう、引き続き養成していく必要がある。	ボランティアが認知症の人やその家族の暮らしをサポートできる。	地域で暮らす認知症の人やその家族の方をサポートする人が増え、地域での支援体制が充実する。
(5)認知症カフェ	現在、市内で9箇所。身近な場所で相談できる体制が増えつつある。	身近な場所で認知症に関する悩みごとや相談が行える。	各地域（旧市町）にカフェを設置し、身近な場所で悩みごとの相談ができる体制を構築する。

認知症になっても笑顔で暮らせるまち　出雲

チームオレンジ

認知症の人や家族に対する生活面の支援や見守りを行う近隣住民や関係者のチーム

- ゴミの日の声かけ
  話し相手
  お茶飲みに誘う など
- 必要な活動ができるよう準備

オレンジサポートカンパニー

認知症への理解があり、認知症の人に優しい事業活動を行う企業等

オレンジサポートカンパニー認定講座

従業員の概ね半数以上が、3回シリーズの講座を受講

(1) 認知症の基礎知識と心がまえ
(2) 認知症の人と家族の思いと関わり方
(3) 高齢者あんしん支援センターの役割

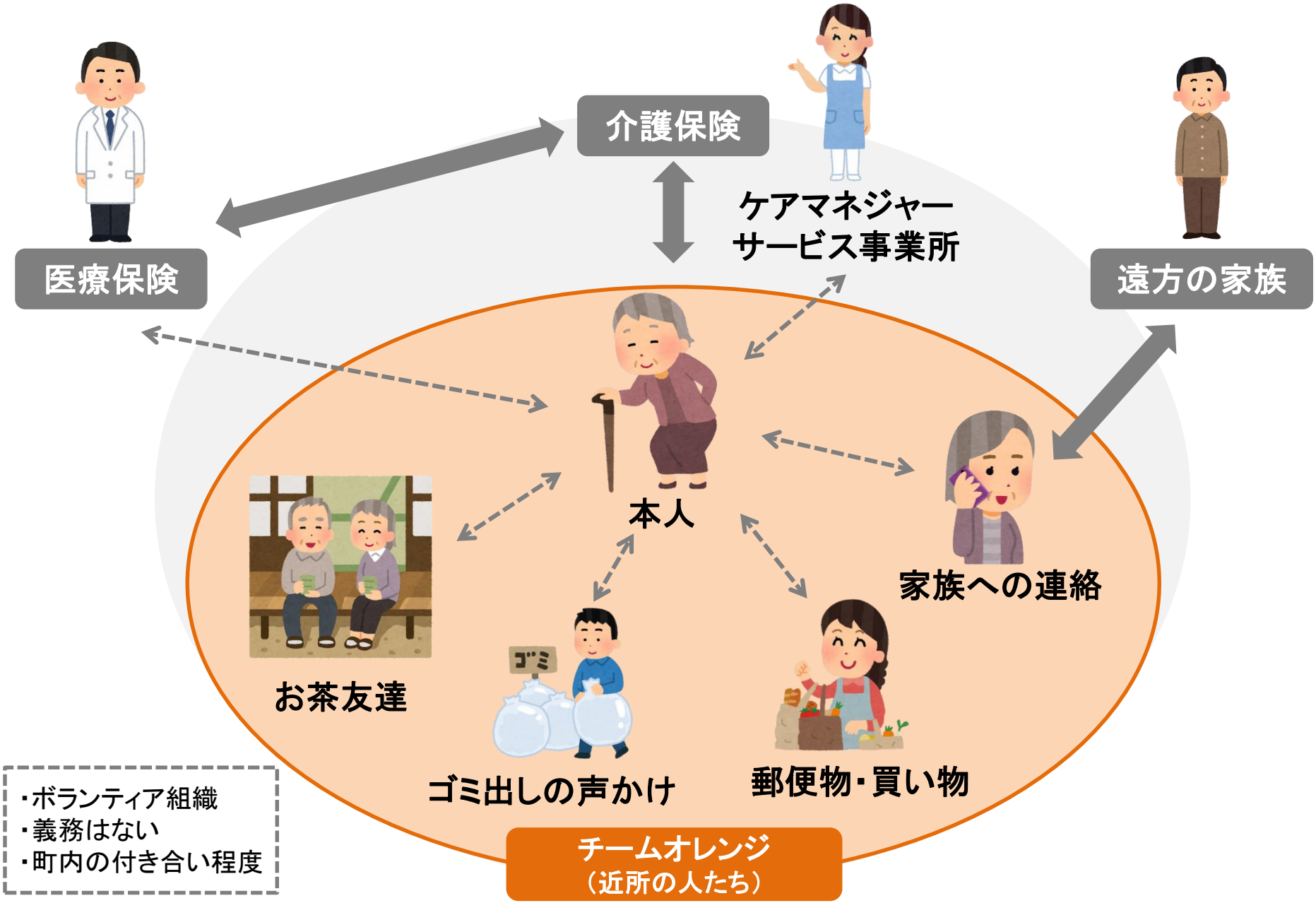
チームオレンジ ステップアップ講座

認知症の人を地域で支えるチーム(チームオレンジ)の立ち上げに向けた講座
※講座内容は、チームとして行いたい支援に応じて組み立て

認知症サポーター養成講座

認知症に関する正しい理解を深め、認知症の人との接し方等を学ぶ講座

身近な“チームオレンジ”のイメージ



・ボランティア組織
・義務はない
・町内の付き合い程度

出雲市認知症ケアの流れ

【認知症サポート医】
相談・支援

居宅

【かかりつけ医】
受診・服薬・相談

運転免許の返納相談

見守り支援

【認知症初期集中支援チーム】
早期発見・早期診断

認知症コールセンター

【介護保険サービス】
小規模多機能型居宅介護
認知症グループホーム
特別養護老人ホーム

認知症予防教室

通所型サービス

物忘れ相談
心の相談

ケアマネジャー

初期

中期

後期

【社会参加活動】
・ふれあいサロン
・趣味、ボランティア

【認知症カフェ】
家族への支援
見守り・声かけ

認知症サポーター
オレンジサポーター
オレンジカンパニー

キャラバン・メイト
メイト連絡会

【認知症の理解】
認知症フォーラム
出前交流塾

【認知症疾患医療センター】
早期発見・早期診断

地域での見守り・声かけ

認知症ハンドブックによる情報の周知

高齢者あんしん支援センター

認知症地域支援推進員

令和5年度　認知症ケアに向けた連携

取　組	関係機関	内　容
認知症の正しい理解 ボランティアの養成	キャラバンメイト連絡会、 医療機関、あんしん	出前交流塾の開催 サポーター養成講座の講師
認知症の理解普及・啓発	RUN伴（とも）＋いずも	RUN伴＋いずも2023開催
認知症の対応方法 社会資源の紹介	サポート医会、企業等 介護支援専門員協会	認知症ハンドブックの普及
身近な場所で相談できる 場所の確保	医療機関、家族の会、 介護事業所、県立大学、 医療看護専門学校	認知症カフェの運営
認知症予防の取組	県立大学、保健所、あんしん、 地域住民	認知症予防教室の開催、認知症予防の普及啓発、「通いの場」の運営・立ち上げ支援
早期発見、早期診断 認知症に関する相談	認知症疾患医療センター、 サポート医、医療機関、 保健所、あんしん	初期集中支援チームの設置 相談業務、相談先の繋ぎ
認知症高齢者等の徘徊 早期発見	社協、キャラバンメイト連絡会、 地域住民	SOSメール、出雲市公式LINE、 模擬訓練
認知症施策の推進	島根県	認知症施策全般

認知症ケア推進実施計画における取組目標

（1） 認知症に対する正しい理解の普及と認知症の人等を支援する取組

・認知症サポーターの養成数　年間2，000人
・企業等を対象としたサポーター養成講座の重点的な実施勧奨を行う
・ホームページや広報誌等で、認知症に対する正しい理解の普及を行う

（2） 認知症予防に対する取組

・通いの場の新規立ち上げ団体数　年間5団体
・通いの場の活動状況を把握する
・通いの場の参加者に対して認知症に関する情報提供を行う

（3） 早期発見・早期診断等の取組

・ホームページや広報誌等で、認知症の相談窓口に関する周知を行う
・ケアマネジャーを対象として、認知症ハンドブックの活用に関する研修等を行う

（4） 認知症支援ネットワークの拡充

・認知症カフェの新規立ち上げ　　年間1か所
・チームオレンジの立ち上げ　　年間1チーム